

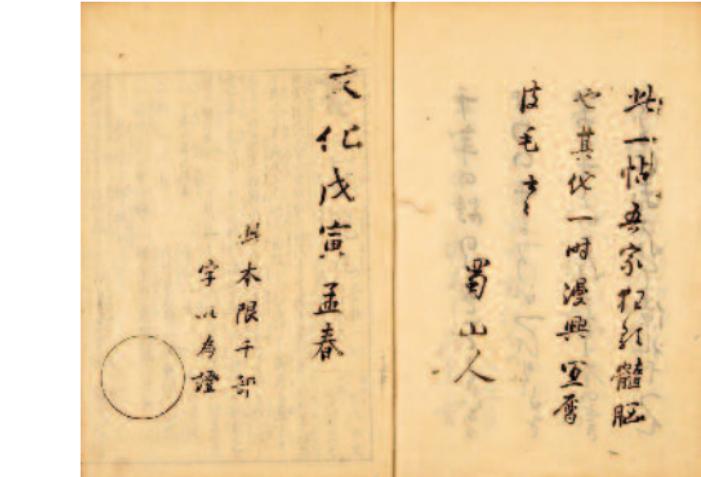
蜀山人自筆狂歌百首

通

蜀山人自筆
百首狂歌

文化戊寅孟春

此木限千部
字以為證



三九 葉津わらい 簿 東菊堂籬角序編 寳曆一二年元旦序 半一冊 八六、四〇〇
 一 内題 「歳旦初笑」 渭川／高惟明題 二四・二五頁參照









四〇

俳饒舌錄 上卷

元木阿弥著

文化元年序

半一冊 一〇、八〇〇

元木綱大人著

俳
饒
舌
錄

全二冊

俳諧饒舌錄

上

本公書 『俳著』 く饒
右の歌をあざけ傳燈錄
玄山の語をもとく
其書は寛むるに接證
移傳俳門秘鍵文庫
の言稿をもと益健古書

饒舌錄上巻目録

そりや 猫の防制

十九のひよ

おれも まくは

さうゆく

手のひら

饒舌錄 上卷
元木阿弥著

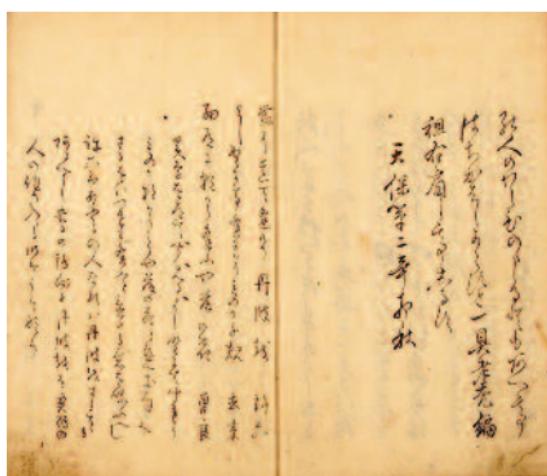
本公書 『俳著』 く饒
右の歌をあざけ傳燈錄
玄山の語をもとく
其書は寛むるに接證
移傳俳門秘鍵文庫
の言稿をもと益健古書

四一

耳さ羅へ集 簡 函館／模窓布席著
—函館俳書 卷末ニヤヤ虫損

天保二年序跋

中一冊 一六、二〇〇



四二 麥慰舍梅通句集
門人校合

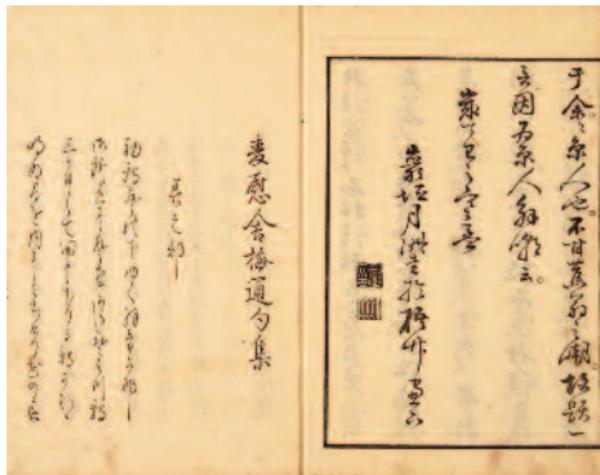
乾坤

簽 梅通編

安政四年秋刊

半二册 二七、〇〇〇





麥應公梅道勺集

舊文約

初秋不見秋雨久猶未止
內卦不見卦不見久猶未止
三十日一丈雨一丈雨一丈雨
めのうと内と一丈雨一丈雨一丈雨

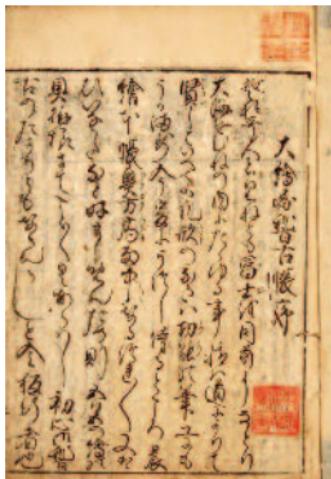
新居帖		山野的集元年著等
伴	諸袖珍鈔	懷用紙本合卷八冊
同	諸袖珍	山野的集元年著等

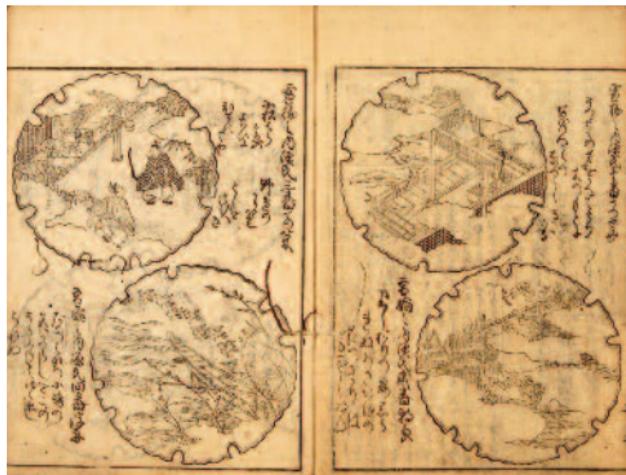
行間丁寧でも妙なり神妙山
修竹遠韻どもて
名亭川多くすゝみ一絃持
手に琴絃を絶す者に傳せり
安政四年秋
門人枝谷

四三

繪本稽古帳 上卷 (中下巻欠)
井村勝吉画 「大繪圖稽古帳」

簽欠 享保三年刊 大一冊 一〇八、〇〇〇
版心 「上一」 「上十三」 喉少虫
一二・一二三頁參照





四四

魚貝略画式

簽欠

文化癸酉（十年）六月刊

大一冊 二三九、六〇〇

| 鍬形蕙齋（北尾政美）筆 剥廁／春風堂野代柳湖刀

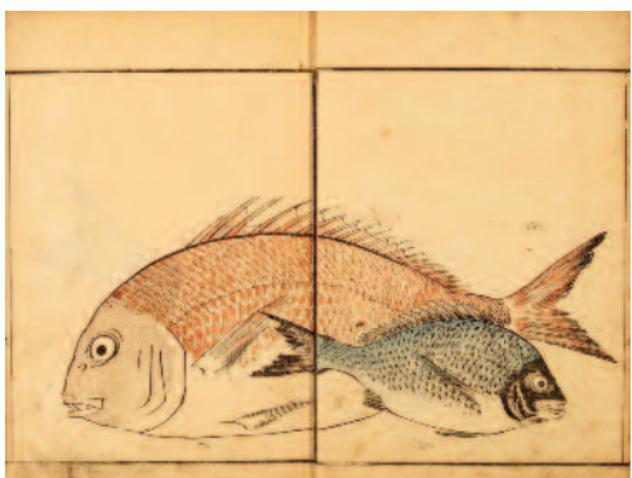
二六〇、二九頁參照

享和二年、東都書林／須原屋茂兵衛板ノ『魚貝譜』ヲ約十一年後ニ改題
シテ翻刻。全板ナルモ初版ニアツタ魚貝ノ詠歌ハ削除サレル。二丁ニ焦
ゲニヨル小穴アリ。



蕙齋先生筆

魚貝略画式







四五

大一帖

一〇八、〇〇〇

一〇八、〇〇〇

一〇八、〇〇〇

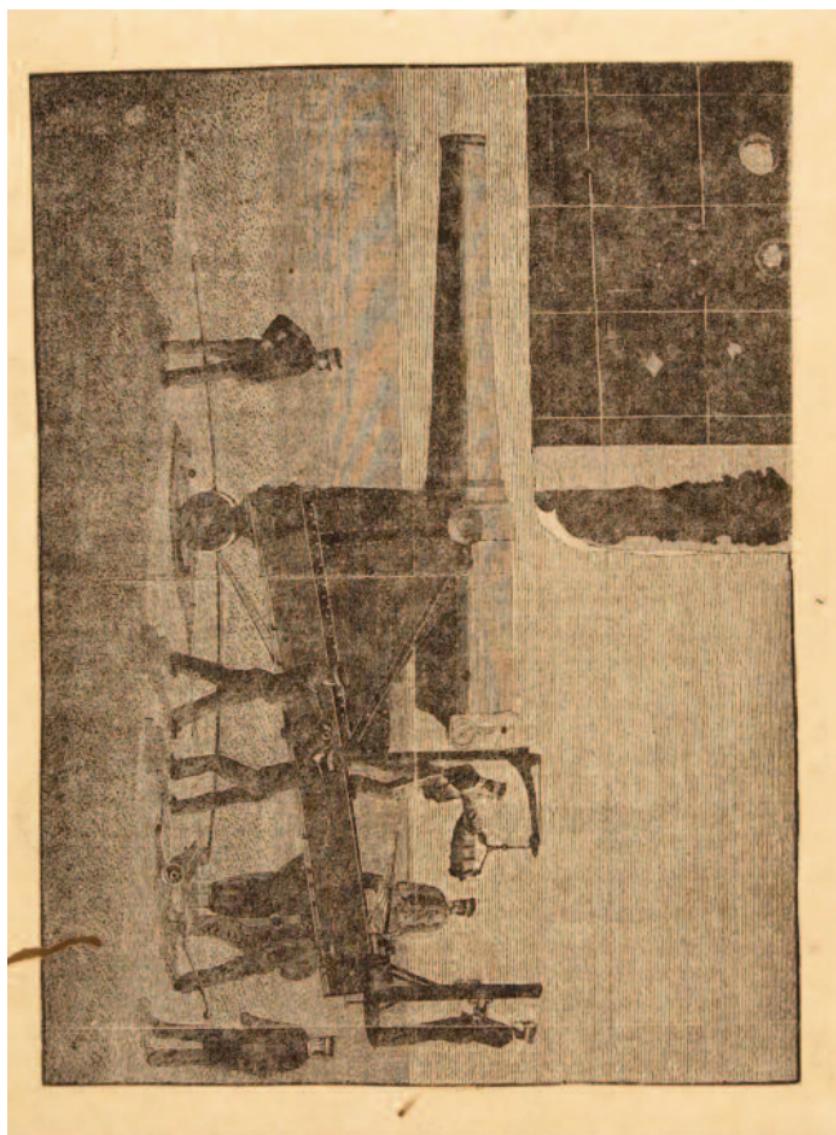
明治期小口木版及小林清親ポンチ繪貼込画帖
| 山本芳翠ノスヌメデ佛蘭西デ小口木版ヲ學ンダ生巧館ノ合田清トホボ同
時期ニ活躍シタ水野孤芳等ノ小口木版画六二枚、清親ポンチ繪一枚、
他二枚、全部デ七五枚ヲオソラクハ明治期ニ個人的ニ貼附シタセンスア
ル版画帖。シカシ近年題簽ニ書カレタ題名ハセンスガナイ。

水野孤芳ハ變ワツタ經歷ヲモツ。文久三年播磨明石藩士ノ長男トシテ生
マレ、繪画ヲ好ミ洋画家ヲ目指シテ東京デ本多錦吉郎ニ學ビ油繪師トナ
ルガノチ俳優ニ轉向、水野孤芳デ初舞臺、明治廿六年川上音二郎一座ニ
入り、水野譽志美、水野好美ト改名シテ俳優トシテ活躍、晩年ハ淺草東
京亭デ寄席ヲ經營シタト云ウ。昭和三年歿。小口木版ト鑑定シタ内ニ石
版力銅版モ混入スルカモシレナイ。明治廿年頃。少虫。五〇〇五三貢参照







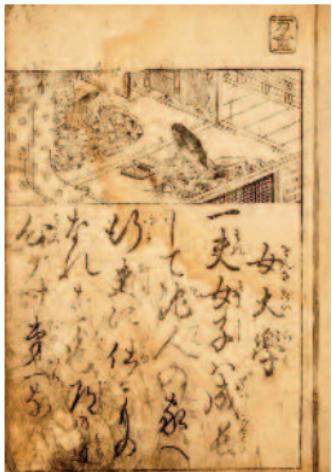


四六 女大學

一月岡雪鼎画力 簿欠 カイマラ先生述

無刊記 明和頃刊 柱題「女大がく」

大一冊 一〇八、〇〇〇
六三丁









四七

渡邊華山画マクリ

紙本

三八 × 二四

少切レ

一枚

五四、〇〇〇

一落款「華山人」。

「全樂堂印」朱印。

岸山人



岸山人



四八 肉筆異人休息ノ圖



二八×四〇 江戸後期寫

一枚 三一、四〇〇



四九

長崎唐渡船之圖

江戸中期頃寫一枚及袋二由來書一通二七〇、〇〇〇

「平戸藩藏書」他朱印押捺及貼附。本圖五六×八一。裏打。

「長崎唐渡／平野屋船由來書／徳見茂四郎ヨリ指圖ス」。

由來書ノ長崎平戸ノ豪商石本家ノ元祖石本了雲ハ壹岐ノ生マレデ江戸
初期ニ平戸ニ住ミ二代三代ト異國交易デ巨富ヲ得テ、寛永年間、四代目
カラ天草ニ移リ更ニ繁榮シテ銀主トナツタ家系ト云ウ。三八・一二八頁參照

長崎唐渡船之圖

一枚

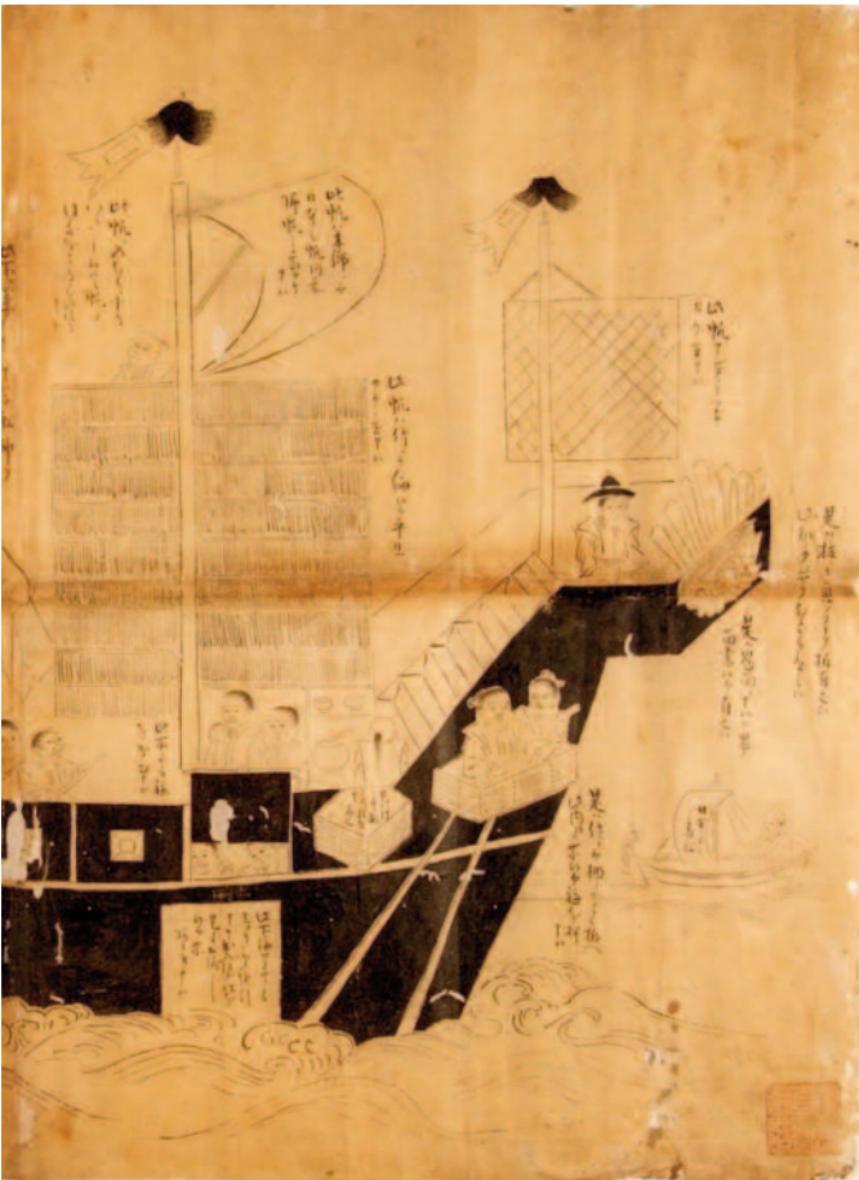




平野屋新昌公書

羽林國事之舊聞平野
乙亥年吉月新昌公奉
予予予予新昌公子
庄周之代古賓余
之故唐通高仕公
如是而別幸之節
不於江右了幸故
至後未有之者之
天正之以長崎之久城
勝手新昌公代平野
乙亥年吉月新昌公

新昌公





五〇

華夷通商考 簿本廿九丁 寶永五年跋 寶永六年序 大一冊 三二、四〇〇
—長崎／西川求林齊輯 錦山樓泉生書 喻卜欄外二少虫。





五一

蕃書調所於タウンゼント・ハリス對話書（仮題）
— 補本一九丁 —

半一冊 一〇八、〇〇〇

三六・三七頁參照

ト有ヒ自機萬キ調御シ候件波ヒ川端
在處ハ鶴屋ミ繁商子孫也ミ安井
主事又其妻モ和氣良吉貴族也此
一ノ事也故而伊毛ヨリ之を賣ニ内ケ直前
度ケ東ヨリトテ自ヒ不レ早急に解
了事也其妻モ和氣良吉也即ち此解了事也
一ノ事也

一 ミニストルモ皆ミ其役和氣也國モ其事也
一 里モ取多ニ亦亦モ僅ニ國モ其事也
一 ミニストルモ行實立事モ其小國も其
外モ其費用亦都々其事也其事也



五二

活那波列翁傳初編 卷一（卷二附錄欠）簽 嘉永七刊 大一冊 一六二、〇〇〇
 | 田原／松岡氏清風館活字板 臺川松岡權識 内題「那波列翁勃納把爾的
 傳一」和蘭國リンデン原著 小關三英遺藁譯本 菊池武貞（権鄉）画

「佛朗王歌」／賴山陽 三五丁

三一〇三三頁參照

吾國ニ於テ單行ノナ。ボレオン傳ノ最初ノ刊本トシテ名高ク、ナ。ボレオン
 ノ畫像ガ版ニサレタ最初ノモノト
 モ云ウ。本文ハ片假名交ジリノ木
 活板ダガ、巻頭ノ「附言」六丁ハ
 平假名交ジリノ組版ニテ、幕府中
 期以後ノ活字板デ平假名交ジリノ
 モノハ稀有デ珍重スベキ。

活那波列翁傳初編 一





佛の玉殿
山陽秋葉の客
佛門を免れず又西洋より渡り此窮境を
彷彿曉得し傍聴者訓道を承候其聲嚴妙の事
考内説は又拂り外すあり此難處は既往に早
既往既往は既往と傳へて向子あらそよ夫婦も早
遣お新婦は老死成は御座ニテアリ夫婦也
我の老死は夫婦も老死の夫婦は平穎耕家
丁口乎老死の夫婦も老死の夫婦は平穎耕家
計大吉と見立二大吉三三ハナツヨリ佳き被服、室ふす
室馬内省すり足輕、而まか忠仲の氣はぞ氣也



それが作者つくるに便からされば其手の筆といふ
某いのをあへず
○余今古の事と原本とは廣文様ふ詳しきるも間々
あは此活字にて講説有んハシマシハ書押にて段
字を排へて直す讀る、殊よもよつ
○活字排打時の就録漏れると又刻る時ふ易以有
て字は缺たるゝと改て第三巻の末に講説を附く
の及第ノくと此書の三本並びして水の底らむろこ
をある取扱す此題此句の居當て借背のハア是が
謂ひて次ヒヌニ活版も云活版事と云
書ふ私く因すへ
清風館主人

第一列音韻学的的辨

小序三成近集序

那波日翁御船御用の印本慶元一十七年六十九年

那波日翁御船御用の印本慶元一十七年六十九年
那波日翁御船御用の印本慶元一十七年六十九年

那波日翁御船御用の印本慶元一十七年六十九年
那波日翁御船御用の印本慶元一十七年六十九年

那波日翁御船御用の印本慶元一十七年六十九年
那波日翁御船御用の印本慶元一十七年六十九年

那波日翁御船御用の印本慶元一十七年六十九年
那波日翁御船御用の印本慶元一十七年六十九年

那波日翁御船御用の印本慶元一十七年六十九年
那波日翁御船御用の印本慶元一十七年六十九年

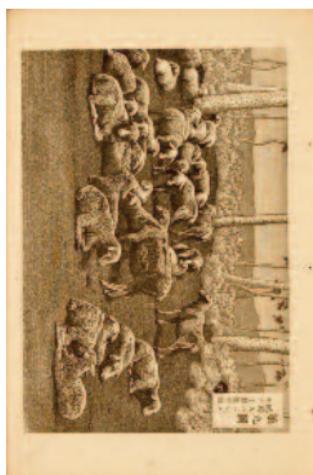
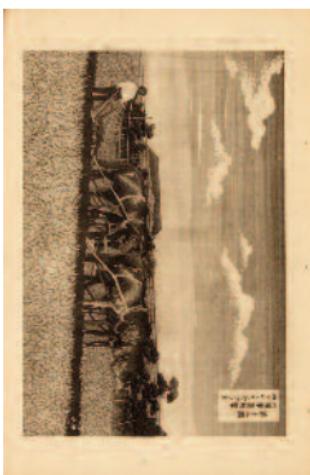
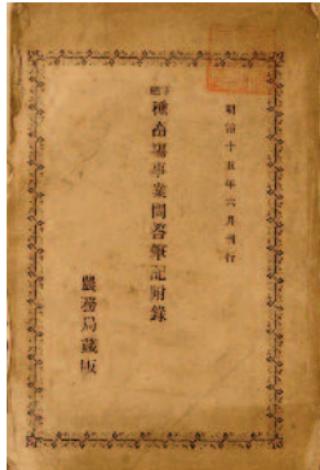
五三

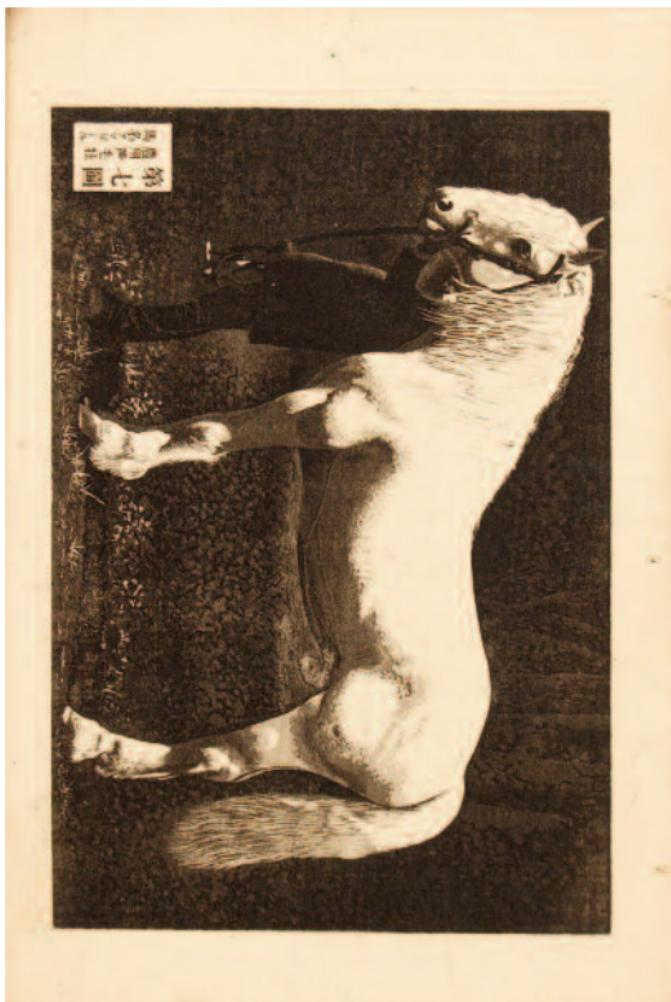
下種畜場事業問答筆記附錄
一細密銅版画二六圖

農務局藏版

明 15

菊判 二二、六〇〇





五四
五五

救荒植物集說

活版九二頁

文部省報告官報抜萃明治

四六判

一〇、八〇〇

海軍機關要規

簽欠

鈴木光良編

水交社

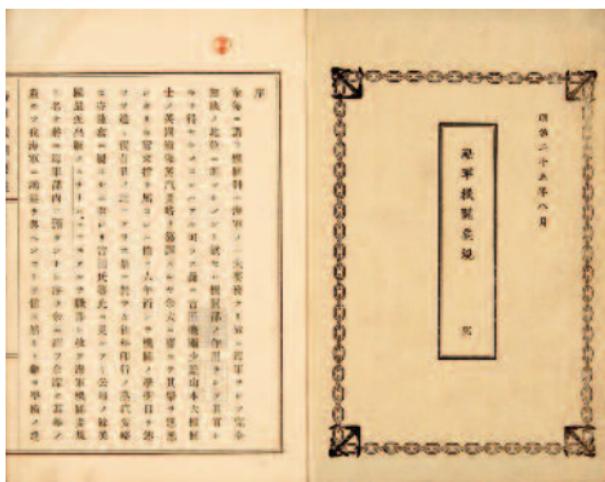
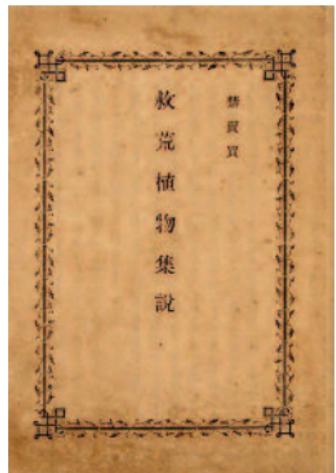
半一冊

二七、〇〇〇

| 海軍少將從四位勲三等／有地晶之允・海軍機關少監

/ 吉田眞一識

秀英舎 二一一丁



白丹砂製煉法 寫本一七丁

半一冊 一六、二〇〇



唐詩實不應之者也。一見其詩，則知其學於六



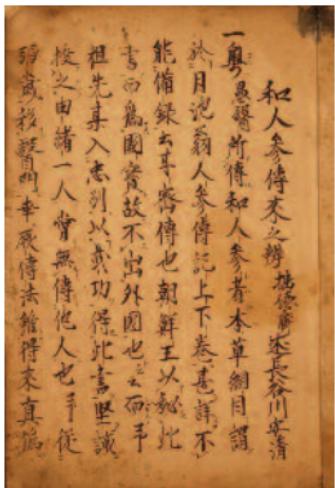
五七

和人參傳來之辨

寫本廿二丁

元祿三年天秋孟寫

冊一二九、六〇〇



甫德廣大之未顯，御風光儀，題師冥加難者，奉召盤辭之間，答記之，
解清風若以野草局人，奉棕
高覽，則後日之難，並亦醫術之處，冥
加以不德之才，真僞爲事，備賢德良
醫之高先，謹記之。

和人參園解之辨

一木草細目人參部所謂時珍弘景兩

訖曰：狀形如防風，遠參異和參加訖。
全不違所考之意。故春二月下種，及三
四十五日發芽，人嘗次生一葉，得熟因
生三極五葉，能長則美，歲秋冬采，
根未小割，經二年，秋冬采根至三年，
或四年，秋月生白花，秋後結子也矣。

豫百濟新羅三國今皆屬於朝鮮
以子於十月下種如菜種法秋冬采者
堅實春芟采者虧缺非地產有虧實
也亦曰他處者最不足信是則依
地遠之證明也時珍之說雖如此亦有世
人錯假是之說迷則喝失人參半愚
怖之誰不才謹按歲月支
柳御本朝之御土地千里之根元三

國之東方可物發生之門也故三光
出此土而歸此土寂上烈勝地先以神國
也丈人參者陽德精靈之神草也豈
不生神國哉獨光星明人參生丈人亦
明也和參年淺而堅實勝功能者御
土地之靈德今新羅奉感無經才不
能伸心繙思嘗也謹而悲悼矣

元祿癸巳歲中變

長谷川安清

以商得能功之度爲治療之宜而已於
是毛醫苟勿憚我且欲利非拒他若惡
能功之度也盟之天神地祇請良醫自
之仁意要聞報者本仁也蟲食水餉
神農氏之禁勿私誠和人參考寸口
之能功可否更自他之邪正其察以示
病戾則幸甚猶万世幸甚矣惟在仁
意方寸之十圭已

柳聖國雖有人參數種今朝鮮之
爲國寶者歸製法而定參功故
也恩醫所持之和參亦歸一製法定
能功永厥傳成神國之良寶貯伏尚
使清世之德化蒙百歲之下天謨
恐誠惶謹言

赤穗源齊製醫

元祿十三庚天秋孟

長谷川安清

五八

檢尿要訣

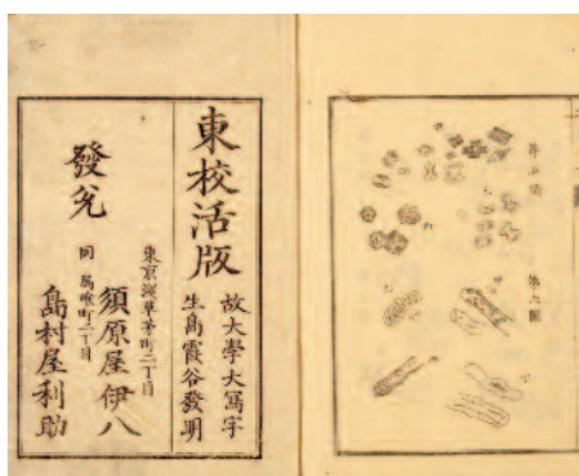
答

文部大助教足立寛譯述

明治初期刊
金屬活字版

文部省官版 中一冊二七

3



五九

順天堂木札ト處方箋

明治二三年一二月一日

二点五四、〇〇〇

木札ハ順天堂醫院ノ患者札デアロウカ。木札ノ大キサ九・二×四・七糸。
厚サ六糸。栃木県下都賀郡／小平惣八／四十九年」。小平惣八ハ下都賀
郡合戰場ノ豪農ニシテ日立製作所ノ創業者デ大實業家トナツタ小平浪平
ハ惣八ノ次男デアル。



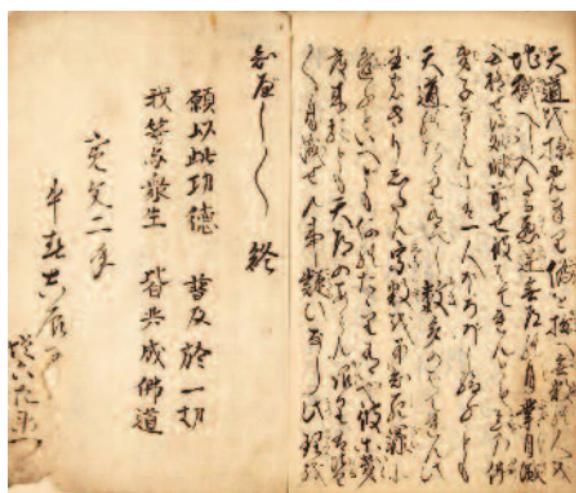
方	處	號
		竹枝
	鹽漬根莖 0.2	
	還元錢 0.2	
	健脾豆蔻末 甘草	
三圓方	姜 1/2	小平 惣八
	為十五丸	四十九年

左側有大大的「X」記號。左上角有手寫體：'明治二三年一二月一日'，'十一月一日'，'順天堂'，'庚午七月廿五號'。

六〇

破吉利支丹 簿本一四丁 鈴木正三著 寛文二年 大一冊五四、〇〇〇
稀覲書『破吉利支丹』寛文二年刊本ノ寫。

三四頁參照



六一

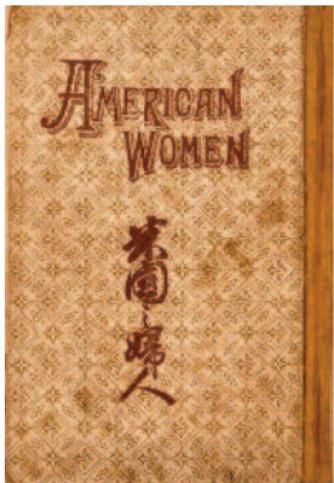
米國之婦人あめりかをむな ボール表紙 有樂堂主人著 奧附欠明22 四六判 一〇八、〇〇〇
| 田村直臣著刊 印刷者／島連太郎 印刷所／秀英舎（國會圖書館）

田村ハ一八九三年ニ米國ノ出版社カラ「The Japanese Bride」

（日本の花嫁）ヲ出版シタ。ソノ内容ガ「日本國民ヲ侮辱シタルモノ」
トシテ教會内外デ大問題トナリ、後ニ「日本の花嫁事件」ト呼バレル大
事件トナツタ。田村ハ植村正久ヲハジメ多クノ著名人ヤ雜誌社ナドカラ
激シク批判サレ長老派教會カラ追放、婦人矯風會カラハ絶版ヲ求メラレ、
ツイニハ日本基督教會ノ教會法廷ニ告發サレル。

本書ハ實ハソノ四年前ニ日本語デ出版サレテイタモノデアルト云ウ。
殘念ナガラ奥附ヲ欠逸スルガ、奥附ノ紙片ガ喉ニ真ツ直グ殘ツテオリ、
マルデ定規ヲ當テ意圖的ニ削除シタヨウニモ見エル。
植村正久ハ一九二五年一月ニ逝去シ、ソノ翌年一九二六年ニ日本基督
教會ヘノ復歸ガ認メラレタト云ウ。

三五・一四六・一四七頁參照



(一)

三

私が此書を著しました理山は腐敗の極點に達したかども思はるゝ男女交際の道も基督教の道他によれば純正潔白のものとする事が出来る事を世人に知らせたいのが一です。又國が毀れば其國風の異るは云ふまでもない事ですが米國に行はるゝ男女交際の道や婚姻の仕方と日本に行はるゝ男女の交際婚姻の仕方との間に月と籠の差別のあるは深い理由のあるのを知らせたいのが二つです。又若書も日本には澤山ありますが理屈を述べるには石の様にコツコツ論じなければ文學の道にはづれてゐる様に思ふ御方もありますから社會の緊要な問題を笑の中に述べますも一の方法であると云ふことを知らせたいのが三つです



北米合衆國大統領就職式

← → ← →

(二) 序

又基督教の教師と云へば油桶を食た様に何時でも満い顔を爲し。せんな可笑な事があつても閻魔の様に剛い顔して笑ふは教師の本分にはづれてゐる。教師は罪の事ばかりを語るがよいと逆方もない考を持てゐる人もありますからさういふ御方の趣をときたいが爲です。此書の始にハリソン將軍夫人の肖像を挿入れましたのは唯だ米國の婦人を示したまでの事で何も深い理由はありませぬ。此書が廣く日本家の族に入り男と女の交際の道が潔くなり善良である一の助ともなれば私の幸福此上もありませぬ。

明治廿八年十二月

有樂堂主人識す

六二
六三

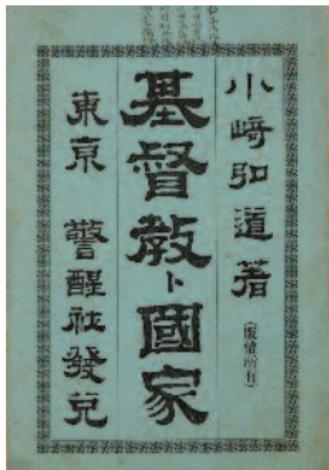
基督教ト國家

小崎弘道著 警醒社發兌

明2622

四六判

一六、二〇〇



六四

基督教の學術的研究

マクネヤ・和泉彌六合譯

印刷所／秀英舎

明27

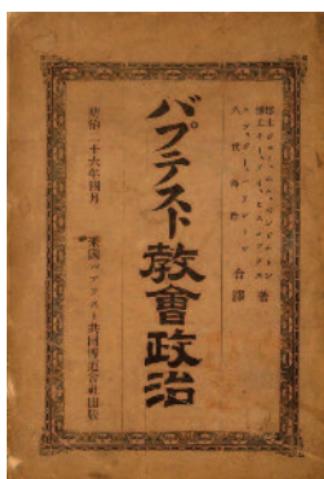
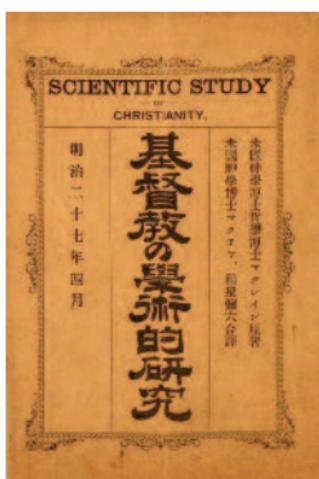
四六判

一〇、八〇〇

バプテスチ教會政治

米國バプテスチ共同傳道
ハーベンドルトン・ヒスコックス著
ハーリントン・久代外治譯

明2622
四六判
二一、六〇〇



六五

福岡日本基督教會寫眞
— 博多 / 田中寫 薦紙附

一一〇 × 一三一 · 五 明治期

一枚 二六、二〇〇



六六

柏木義円書簡

信州諏訪牛山傳造・濱子夫妻宛

二通 一〇八、〇〇〇

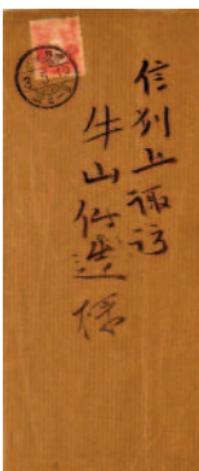
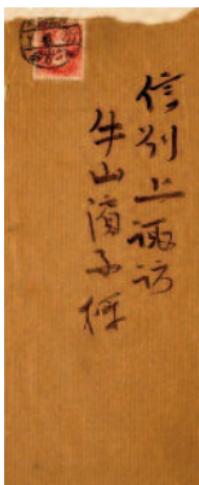
一毛筆四二行・毛筆便箋二枚

大正三年・大正七年ノ消印

越後國与板藩ノ寺ニ生マレ東京師範學校ニ學ビ、群馬縣下ノ小學校ニ在職中ニ安中教會デ海老名彈正ニ影響ヲ受ケテ海老名ヨリ受洗スル。

後、同志社デ學ビ、新島襄ニ感化サレタト云ウ。明治三〇年安中教會牧師トナリ『上毛教會月報』ヲ創刊シ安中ノ地域傳道ト社會批判運動ヲ展開シ、非戰ノ思想家トシテ知ラレタ。

宛先ノ信州上諏訪ノ牛山夫妻ハ義円ト深ク親交ガアツタヨウデアル。
 一説ニヨルト牛山（舊姓尾崎）濱子ハ近江ノ彦根幼稚園カラ一九〇五
 （明治三八）年ニ前橋清心幼稚園ニ移リ、翌二月前橋教會ニ、一九一六
 （大正五）年ニハ安中教會ニ轉會、コノ前後ニ上諏訪ノ中學校教諭ノ牛
 山傳造ト結婚シタ。ソノ後、兩家ノ相次グ子供ノ不幸ニヨリ兩家ハ深ク
 結ビツキ傳造ハ一九二四（大正一三）年一月ニ安中教會ニ出向イテ義円
 カラ洗禮ヲ受ケタト云ウ。



丁日夜つ逝去ノニ靈教が考リニシタヨニ二日ニ靈教ニ立
靈教一日祖錦ニシテ苦ニナヘトハ湯ノ如シテ
田代少佐、ハラル舞、ノ山言未妹御、加司不ニシテ
下セ多大御ノ子ニカニニシテサコニ武ノ火葬皆行
行ハレシニカムテニ死ノニミテ第ハハ入後病院ト
ツ出ちノ由ハ高熱ニイクワコウトチナラクソノヨリ
ア死ノ修カ若クノハノメニナラナカフキツミ
アスム高コ人五代ニナライロク森ヨリシタ
金堂靈教中ニフキヤハ前御内ニリシテ、
可証しシタ事、金堂ニ前御内ニリシテ、錦ニミツ
利程敷、
加古ナシ而代テノ玉屏トコモ世也、ちあつ、
奥行ノ只上り、持以レヤコ様、同上にナシ、
時
時

上列安中
柏木義四

上列安中
柏木義四

辨終

俊子様の物約成り等の
翠城より遊山由つ事の安
心の山事ト存候等の事
精々頗るハ同様三輪:

サノサノ呼ハニ懲人モニシル

湯酒治初前ノ如キの膳女奉
柱之人ノ後の也ノキツ心常
ニシテ余近年代々本ノハ
安一の呼寄マニシテ居止ム多
知人・機会ニシテ其事づれ

トカニノ紙セナ十二年
俊子様、宜シテハ私ヒヤウル
ハ他ノ御令ミテハ奉候ニシテ
吾居ハ入ラセラリ矣ハシテ
新ノ宿處上ニハ被禱シ居
トヤウ
少・相季伴子印仁萬寧
ニニ故サ花居ノ為ソニ御令碑
ヲ置テシモ除幕代力之愛
子キス人蘇幸久の夫婦・吾
他立高丁所新風の知己サヌリ
ト年余私ニ友人トニシテ懐メ
辨ラシハナク

六七

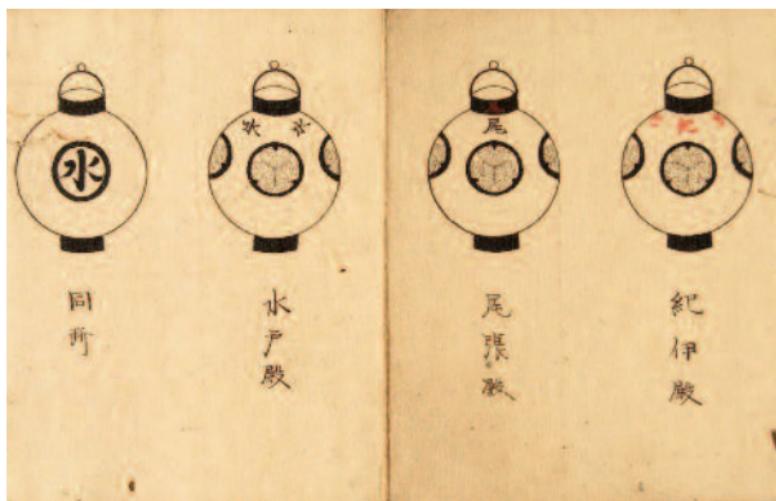
江戸火消御用桃灯定（仮題）

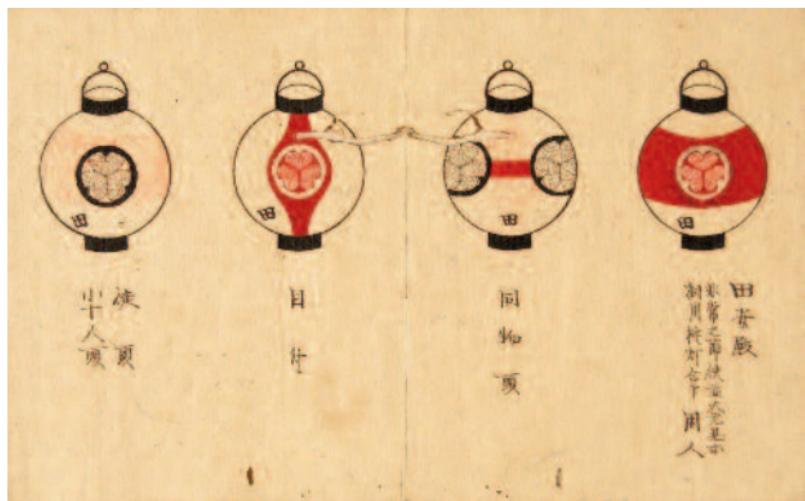
安政六年六月定卜記 極小一帖 二三九、六〇〇

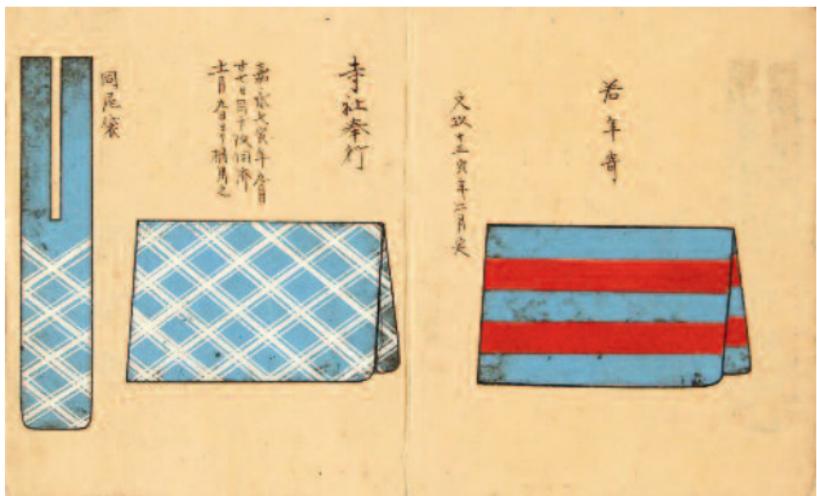
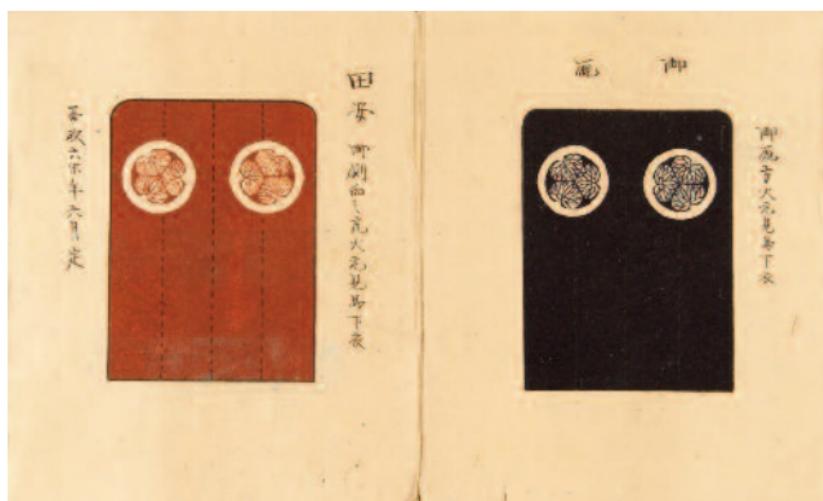
裏面「御役場心得」「集場ヨリ引順」

「御成先江出馬心得」四六〇四九頁参照

桃灯七一圖ト他六圖。帖ノ大キサ九・二×七・五糰。少虫。







廣雅

馬出馬之節鞭之殺至刑之為用以儀故
何方而鞭之持手可笞也
古曲輪內小大而貴叔子舍之遂外間後方
出馬子之以殺至不一也場所早中
騎馬使以曲輪內坐之鞭不可仰也
貴族是馬每三節亦每四場西向後方
為前之乘之者也亦可坐之馬坐之
曲輪內勿論何方而後合場未坐之言
出馬之文馬也已故後坐牛馬也者
其故也坐馬而後正後用人馬上坐者也
主上消防機一指昂而坐仰身當且因後
馬幸之用人手等力一指消防機焉是亦
可坐仰身云
大車場除坐裏底馬桶之坐者之方也
充合平仰坐火種之相祖坐之家未少之
萬而可多仰身云
乃後場途中而天氣寒之二日雨具尚用不早
坐大三節一坐場而馬之於林立坐力之守
煙火之亮之土建之金桶之坐大馬龍
之何方之坐力又之同公子也一暮石之坐
與力之坐坐手之桶多數相接一見通解
同後鎮り同馬人殿引取事

集場引取帳

殘番第三章二章二伐本番

卷三

卷之三

但之名一毫未全地力者古之自取其多寡之時
而得之者既多安之以待——主何為壅積於

卷之三

陽門の門口詰留るを乞ひ合場にて
南引領の外人殺久走り不一馬の死餘者
三其刀傷之死を之物殺され候て復幸存
相如者等一の事當ニ無也

某會其稽是初引出。因後復從而向者遠。乃仍之。太守向者涉門。占方語。一
時。以取重。

此後居館ヨリ直ニ駕籠引場所
移す事無事不外也

上腎
於茶水

聖
經

水韻
卷之二

卷之三

三國志

卷之三

和官様
天津湯様

本物内幸款

滑姫君様用印人

大谷木安吉

波多野錦之助

西門内幸款

末姬君様用印人

森喜川綱之助

中村又左衛門

辰巳内幸款

時光院孫用印人

柳田良三郎

西村内幸款

誠懐院孫用印人

鳴田良三郎

三四井内幸款

精姫君様用印人

柳島善次郎

日高内幸款

本吉内幸款用印人

祖父江謙輔



六八

紀州藩御用團扇師菱屋製古代團扇

江戸時代前期

一柄 二七〇、〇〇〇

藤生／肉筆画。裏面ノ柄ノ要ノ近クニ「紀州／ひしや」ノ黒印ヲ押捺。

才ソラク右ハ「こな河」カ。扇部ガ二九糸。柄ガ一六・八糸。

一説ニ現在ノ團扇ノ原型（柄ノ部分ノ竹ノ先ヲ割ツテ、紙ヲ貼ル骨ニ

スル製法）トナツタノハ室町時代末期ト云ウ。コノ團扇ハ江戸時代初期

ヨリ紀州藩ノ御用團扇師デ團扇ノ元祖的ナ老舗「菱屋」製デアル。

今モソノ技術ハ菱屋ノ末裔ニヨツテ紀州ノ粉河町デ傳承サレ、紀州三大祭ノ一つサレル「粉河祭」ノ行列デ一對ノ巨大ナ粉河團扇ガ登場スルト云ウ。紀州ノ殿様ノ參勤交代ノ際ハ江戸ヘノ土産物トシテ重寶シタラシイ。左ニ少々切レガアルガ保存状態ハ良好。

二二頁参照





六九

新訂地球萬國方圖

簽

嘉永五年初夏官許特

大一舗

二七〇、〇〇〇

湯陵／翠堂彭（中島翠堂）編述。

一〇〇・五×一七八·糢。

精刻彩色木版大形世界圖。

表紙ノ大キサ三四×二二·六糢。

表紙ノ在筆ハ木製。保存状態ハ良好ダガ少虫損アリ。

三九〇四二頁參照





七〇 近吾堂板 江戸切繪圖 簾 嘉永二年（安政三年刊）

三〇舗 八六四、〇〇〇

一無刊記（二舗）・嘉永二年刊（二舗）・嘉永三年刊（四舗）

嘉永四年刊（一〇舗）・嘉永五年刊（四舗）・嘉永六年刊（一舗）

嘉永七年刊（四舗）

・安政二年刊（一舗）・安政三年刊（二舗）

玉香園主人・高柴三雄誌 魁町十丁目近吾堂五平藏板

雁皮紙摺

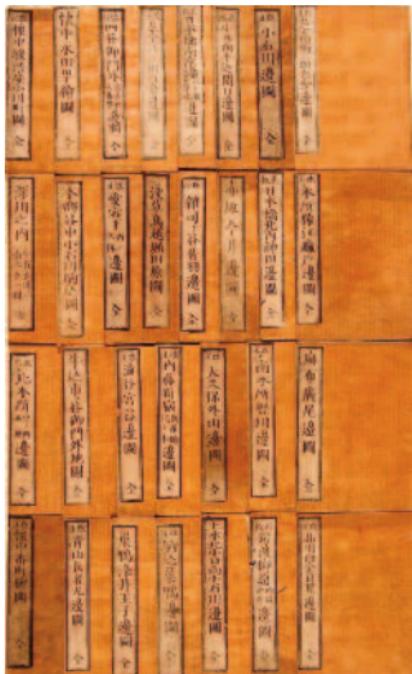
一説ニ魁町ノ荒物屋の近江屋（近吾堂）ガ弘化三年頃カラ刊行ヲ始メ
 タトサレ、一般ニ流布スル傳圖ハ萌黄色ノ表紙ノ中央上部ニ題簽ヲ備エ
 ルガ、本圖ハ薄茶ノ表紙ノ左端ニ題簽ヲ備エル。大キサハ萌黄色表紙
 （一五・〇×八・二）ニ對シ（一一・三×八・〇）トヨリ小形デ、非常
 ニ薄様ノ雁皮紙ニ摺ラレテイル。ヨツテ三〇舗全テモ重ネテモ高サハ五
 糜程デ、シカモ輕量、重サハ全部デ一七〇匁ニ滿タナイ（萌黄色表紙ノ
 近吾堂板ハ一舗デモ四〇匁デアル）。

永井荷風ガ小説ノ中デ尾張屋板ノ江戸切繪圖ヲ懷中シタ話シハ有名デ
 アル。オソラクハ目的地ヲ選ンデ懷中シタト思ワレルガ本圖デアレバ全
 テヲ懷中デキタデアロウ。

殆ドノ題簽ノ角書キニ「正改」マタハ「板再」トアリ参考圖デ示シタ「小日向小石
 川牛込地圖」ハ本圖デハ「小日向牛込関口邊圖」「小石川邊圖」ト二圖
 ニ別レテオリ一般ニ流布スル傳圖トハ全ク別物ノ「近吾堂板江戸切繪圖」
 ト考エラレル。

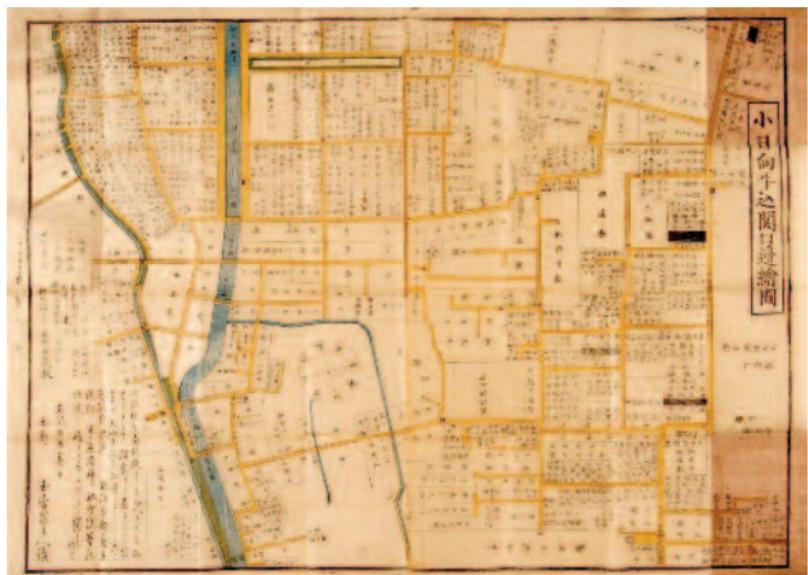
近吾堂板ノ成功ヲ見テ繪草子屋ノ尾張屋（金鱗堂）ガ眞似テ切繪圖ノ販賣ヲ始メ、錦繪ノヨウナ彩色等ノ華ヤカサカラ人氣ヲ得テ現代デハ近吾堂板ノ數十倍ノ傳存數ヲ誇ル。尾張屋板ニスツカリオ株ヲ奪ワレテシマツタ近吾堂板ハ更ニコンパクトニシテ改正ヲ加工テ販賣數ノ挽回ヲ圖リ本圖ヲ刊行シタモノト考エラレルガ本圖ノ稀少性ガ示ス通リニ全ク叶ワナカツタノデアロウ。

保存状態ハ頗ル良ク極美品デアルガ、二舗ニ極僅カノ虫損ト一舗ニヤ虫損ガアルモノノ虫損箇所ガ幸イ密集地デハナイノデ欠字ハ僅カデアル。四二〇四三頁參照・★注、萌黃色表紙ノ「小日向小石川牛込地圖」ハ含マレマセン。

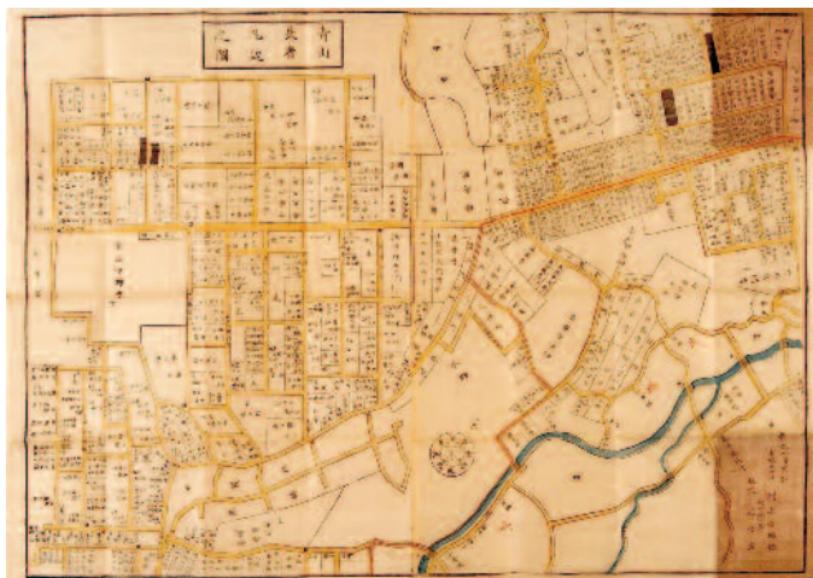




【萌黃色表紙・通常ノ和紙摺】







七一

分間江戸圖鑑

簽 小形圖

五三×六一

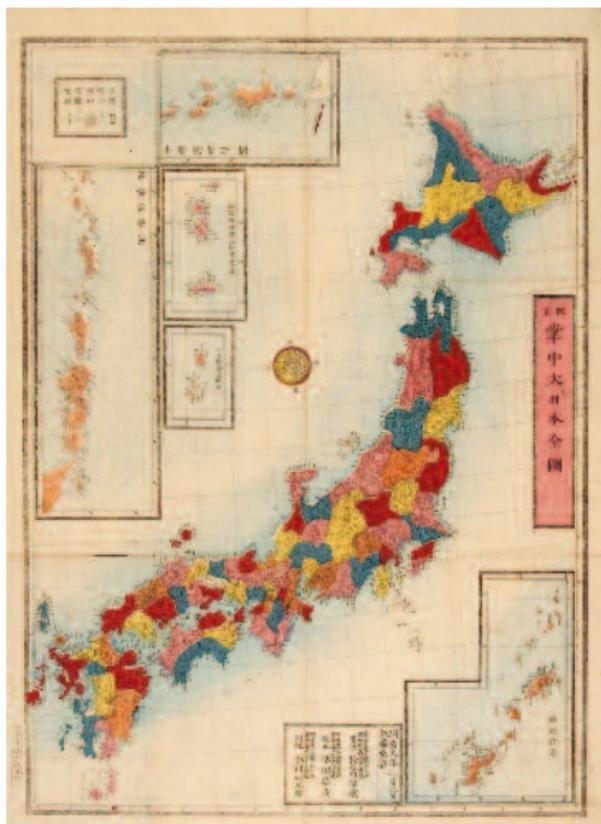
天明改正

一舗 三二、四〇〇

—日本橋通三町目吉文字屋次郎兵衛



七二 改正掌中大日本圖 簾 銅版彩色 四八×三五 明9 一舗 二二、六〇〇
—著述／長谷川深藏 校正／早川忠直 出版／木村正五郎



七三 肉筆極細密地圖ノ一括

明治廿二年前後寫

七枚

一六二、〇〇〇

「徳川氏柳營眞圖」／文久元年三月製圖（五四×三八）・「第二江戸往

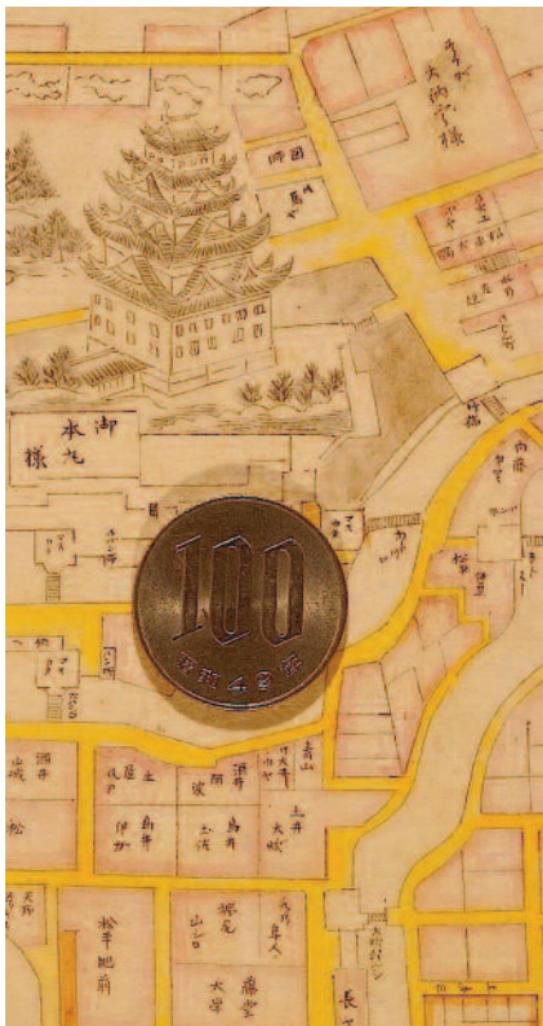
古之圖」（一七×三九）・「第三長禄年間江戸圖」（一七×三七）

「第四寛永江戸圖」（一七×三九）・「尾張殿高田戸山屋敷繪圖」

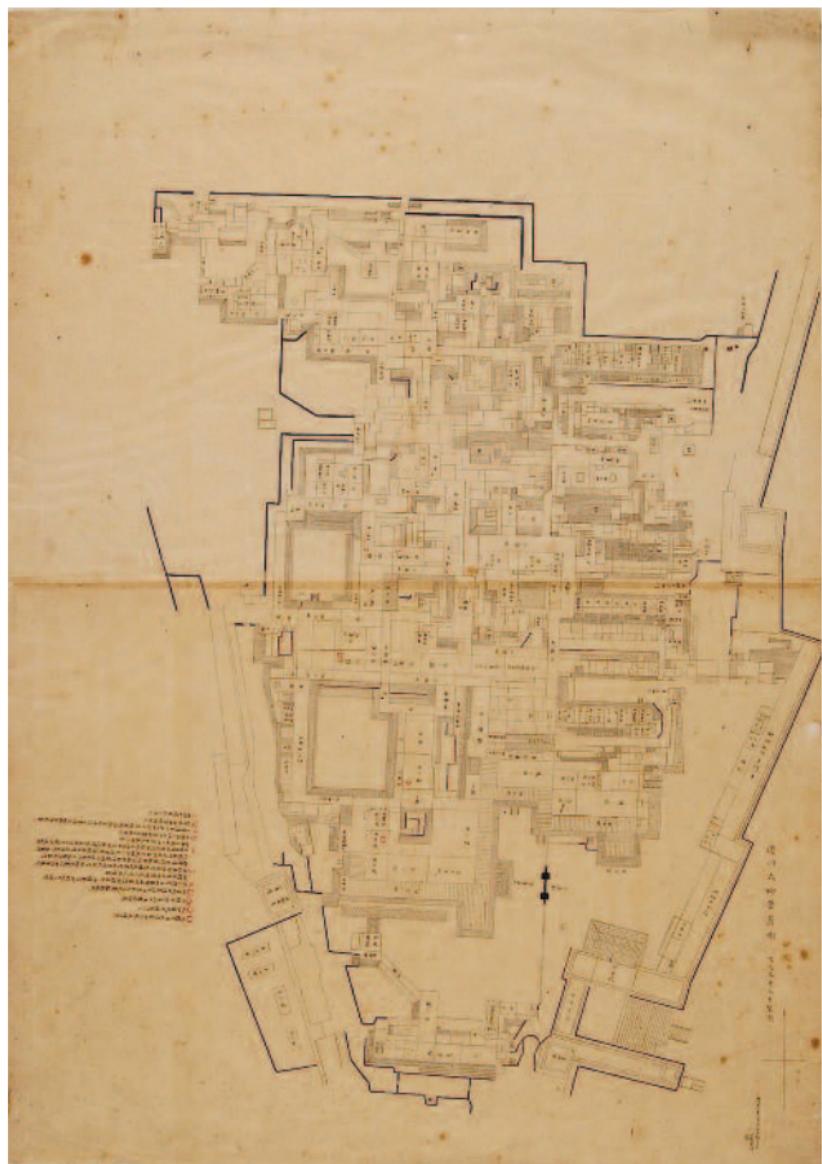
（三五×三九）・「北海道圖」（一七×三八）・「沖繩島圖」（一七×三九）

雁皮紙。天野康邦記。江戸期ヨリ百人一首ナドヲ米粒ヨリモ小サナ文字
デ書イタ細字資料ヲ希ニ見カケルガ、コレハソノ細字ノ技法デ地圖ヲ模
寫シタモノデソノ集中力タルヤ凄マジイ。

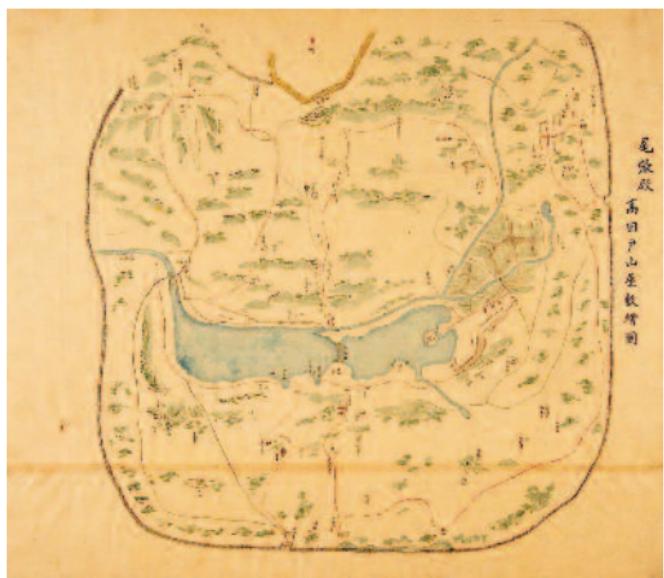
四四～四五頁參照



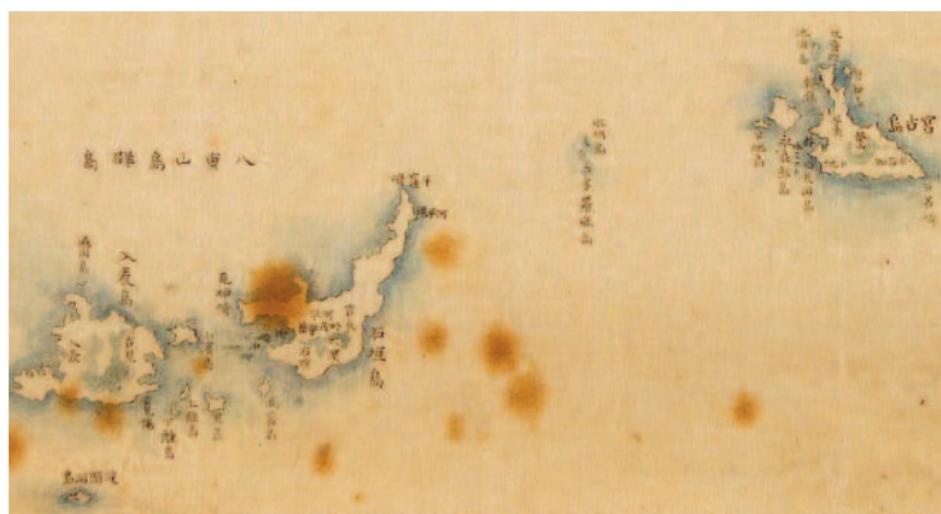
【部分圖／ホボ原寸大】











【部分圖／ホボ原寸大】

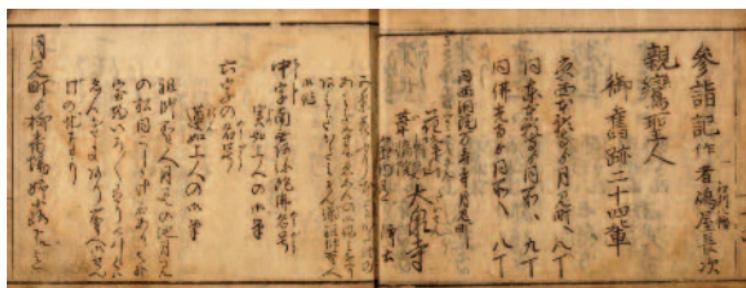
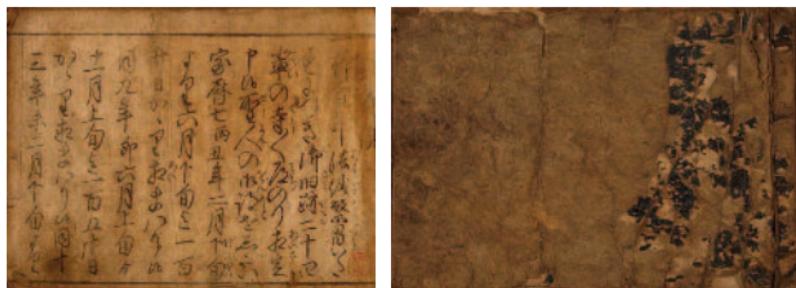
七四

二十四輩參詣記

題簽欠 嶋屋長次作

無刊記 小横一冊 三二、四〇〇

寶曆七年序 皇都書林／吉野屋爲八板



大坂下り籠細工

少穴

三六×四八

文政二年頃刊

一枚

五四、〇〇〇

細工人／浪花／一田正七郎 大坂書林／中川五兵衛・江戸書林／英平吉
 文政二年大坂ノ籠職人一田正七郎ガ江戸淺草デ興行シタ見世物ガ大當ト
 ナツタトキノ摺物。一説ニソレガ「江戸の敵を長崎が討つ」ノ俚諺ノ由
 來トナツタノダト云ウ。



大坂下り籠細工
一田正七郎

文政二年頃刊
大坂書林

七六 古今茶人系譜

三一×四三 江戸中期刊

一枚 二七、〇〇〇

一 東都府南大練舎桃林藏板
神田大神御祭禮番附□録 明治一七年九月一日御届

一画工兼出板人／佐野金之助 二六×三八

一枚 二七、〇〇〇

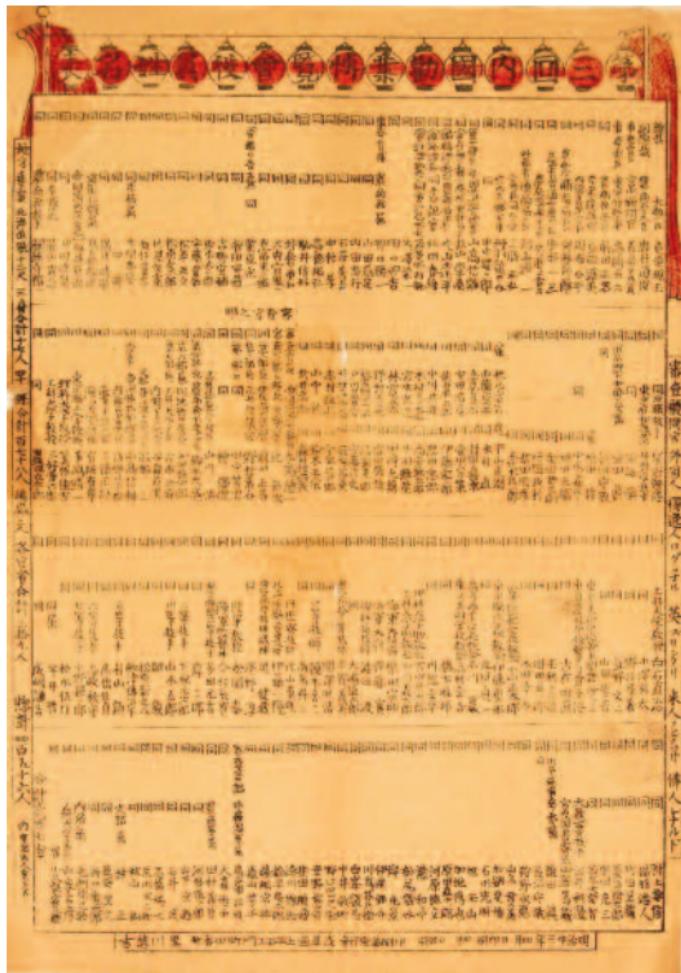


七八

第三回 内國勸業博覽會役員姓名表

三四×二四 明33
一枚二七、〇〇〇
英ブリンクリ・米フエノロサ・佛レナ

ルド 淺草區／黒川萬吉發行



七九
八〇
大日本獨案內
内外貿易出納大略

五三
五〇
×
三四

岡田常三郎
岡田常三郎

明
2020

一枚
二二、九六〇



八

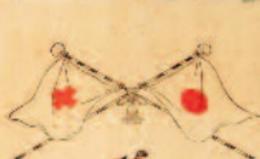
義勇雜誌 第一〇二號

佐藤一誠編刊

明
31

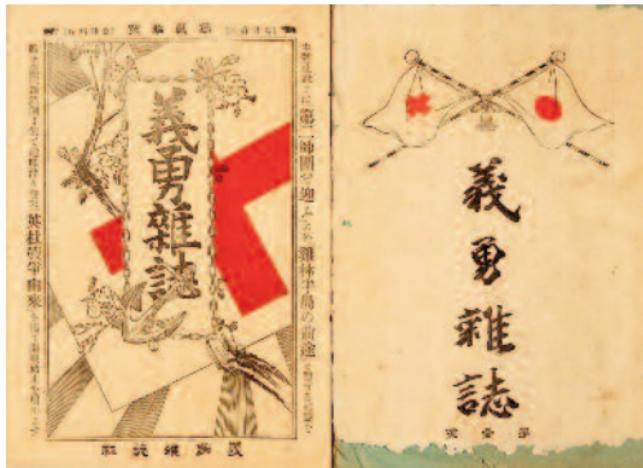
菊判一〇冊二一、六〇〇

—福島縣信夫郡福島町／義勇雜誌社 第一〇二〇號 佐藤



義勇雜誌

第二頁



名雲書店發行新刊のご案内

英和對譯袖珍辭書原稿影印

文久二年江戸開板・慶應二年江戸再版 限定200部

名雲純一編 影印本／堀孝彦序及び解題（堀達之助玄孫）洋書調所・開成所刊行。初版が全体量の3%強・再版が約8分の1（122頁）全文全情報を原寸カラー印刷で影印。A4判・上製函入り・背バックスキン・マーブル紙特別装訂。183頁2007年7月7日発行。

定価／本体 120,000円+税





英学史上空前の発見！

◎茂住實男

日本英学史学会長・拓殖大学教授

第一級の歴史的史料であり、辞書編纂者らの格闘の跡を残す校正原稿からは、編纂に係わる数々の情報が読み取れる。西洋文明の理解やそれに伴う英語訳語の選定過程など、英学史研究にとって又とない機会の到来である。早くも編纂着手時期の再検討や編纂従事者の追加の必用も指摘され、幕末期の欧米文化、文明摂取に係わるいくつもの新事実がもたらされるであろう。その調査・分析は、今ここに始まる。この貴重な文化遺産の公刊を喜びたい。

維新変革の重み！

◎宮地正人

東京大学名誉教授・元史料編纂所長・前国立歴史民俗博物館長

このような第一級史料がまだ存在していたのか、というのが率直な感慨である。幕末史では攘夷運動・倒幕運動史研究に重点がおかれていたが、特に学術分野の近代化は幕府の果たした役割が大きく、その中心が英日辞書の編纂事業であった。その過程での労苦と辛酸をなによりも雄弁に本史料が語りかけている。影印本刊行をよろこぶと同時に、維新変革の重みを国民が理解する上で、原史料も然るべき機関で常設展示されることを切望したい。

訳語研究に朗報！

◎飛田良文

全国大学国語国文学会理事・国立国語研究所名誉所員

元国際基督教大学大学院教授・博士

『英和対訳袖珍辞書』の校正原稿が発見された。近代日本語研究にとって大きな喜びである。文久元年のころ、蕃書調所の堀達之助（辞書編纂代表）のもとに、同僚の西周助や箕作麟祥らが英語の稽古に通った。この原稿は、これらの知識人がオランダ語から英語へ移り変わっていく現実を反映する第一級の資料で、この発見が契機となって、辞書史、訳語史、さらに翻訳史の研究へ一段と発展することを期待している。

ワールド・アンティーク・ ブック・プラザ in 東京！

丸善日本橋店 3F 10:00~20:00 (元日を除いて年中無休)

〒103-8245 東京都中央区日本橋 2-3-10

2011年11月25日OPEN!

世界11カ国、20店の古書肆のプラザが丸善日本橋店にオープンしました。

弊社名雲書店もプラザのメンバーとして出展しております。

お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

World Antiquarian Book Plaza in Tokyo!

Located at Maruzen Nihonbashi Bookshop 3rd Fl.

Plaza Members

- ◆ Between the Covers Rare Books, Inc. (U.S.A.)
- ◆ Cathay Bookshop (China)
- ◆ Rodolphe Chamonal (France)
- ◆ Cornstalk Bookshop (Australia)
- ◆ Antiquariat Winfried Geisenheuer (Germany)
- ◆ Antiquariat Inlibris GmbH (Austria)
- ◆ The Isseido Booksellers (Japan)
- ◆ Herman H. J. Lyngé & Son A/S (Denmark)
- ◆ Maruzen Co., Ltd. (Japan)
- ◆ Nagumo Shoten (Japan)
- ◆ Oak Knoll Books (U.S.A.)
- ◆ Libreria Pontes (Spain)
- ◆ Jonathan Potter Ltd. (U.K.)
- ◆ B & L Rootenberg (U.S.A.)
- ◆ Bertram Rota Ltd. (U.K.)
- ◆ Rulon-Miller Books (U.S.A.)
- ◆ Dieter Schierenberg b.v. (The Netherlands)
- ◆ Sokol Books Ltd. (U.K.)
- ◆ Antiquariat Steinbach (Austria)
- ◆ Antiquariat Weinik (Austria)
- ◆ Michael Weinraub, Inc. (U.S.A.)
- ◆ Yushodo Co., Ltd. (Japan)





ヤマトフィナンシャル株式会社

お支払い方法についてのご案内

※クレジットカード決済
(メールアドレスが必要です)

※お届け時クレジット払い



クレジットカードをご利用のお客様は詳しくはホームページをご覧ください。

名雲書店ホームページ <http://www.nagumosyoten.jp/>

※お届け時電子マネー払いがご利用になります。

ご利用いただける電子マネーブランド



manaca



nimoca



宅急便 コレクト お届け時電子マネー払い

ご購入者様が商品を受け取る際、電子マネーでお支払いができます



manaca



nimoca



平成廿八年七月十五日發行 正價二千圓

編發
輯行人兼

名雲純

群馬縣高崎市八千代町一丁目八番三號

印刷所 上武印刷株式會社

群馬縣高崎市島野町八九〇番地二五

發行所 上武印刷株式會社

名雲純

店

書

店